浪花女（1940）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 145分
初公開日 1940/09/19

【解説】
依田義賢の脚本を溝口健二が監督した「芸道映画」のひとつ。溝口と田中絹代が初めてコンビを組んだ作品としても知られる。溝口作品の最高傑作と評されることも多いが、ネガもプリントも残っていないとされている。
千賀はひょんなことから、義太夫節三味線方の豊沢團平の看病をすることになり、義太夫の奥深さに目覚めた。大阪の商家に育った千賀だったが、周囲の反対を押し切って團平と結婚。義太夫の世界にのめり込んでいく。だが團平は、日常における千賀の振る舞いが気に入らず、離婚まで考えていた。しかし文筆の才能があった千賀が人形浄瑠璃「壺坂霊験記」を書き、團平はその完成度の高さに驚くと同時に、その場で「節づけ（作曲）」をするのだった。

【クレジット】

監督	溝口健二	
原作	溝口健二	
	依田義賢	
脚本	依田義賢	
撮影	三木滋人	
美術	水谷浩	
音楽	伊藤宣二	
総指揮	白井信太郎	
出演	坂東好太郎	豊沢団平
	田中絹代	お千賀
	高田浩吉	文吉
	中村芳子	おくに
	浅香新八郎	越路太夫
	梅村蓉子	その妻・おたか
	志賀靖郎	佳太夫
	坪井哲	萬鳳

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.